

# 英語を楽しく

No. 134  
2, November

☆ 英語には2つの英語がある？

ホントにホント。でも、それは、話し方英語と書き方英語のことです。「な～んだ。」  
なんて思わないでください。

例えば

① I want you to take me to the party.

② I would appreciate it if you could accompany me to the party.

① ②共に同じこと「私をそのパーティーに連れて行って欲しい。」ということで、

①が話し言葉、②が書き言葉です。

① to take me などの言い方は、アングロサクソン系で日常的に気軽に使う言葉。

つまり 話し言葉

Thank you.

アングロサクソン系の言葉は中学校の英語の教科書

Excuse me, where is the Yobe station?

② appreciate などの言葉は、ギリシア・ラテン系で 威厳があり、堅苦しい感じの

言葉。つまり 書き言葉

ギリシア・ラテン系の言葉は高校や大学で学習。

全然んな言葉で「言」ことが大切、このために日本語の力もいる。  
あるほど英語の基礎は日本語だね。



(中学校での英語で「会話でさあよ」)

Go straight, and

turn right.

You can't miss it.

「英語での日常会話は、中学校でならった英語で十分。」と言われるわけは、単語が優しいからと言うことよりも、やはり人が普段使っている生きた単語だからではないでしょう。

英語活動で使う言葉は もちろん ①のタイプ。

(注) 日常会話で ギリシア・ラテン系の言葉を使うこともありますが、その時は、あらたまった機会であるとか互いにそんなに親しい仲でないとかといったときです。アングロサクソン系の言葉は優しく温かみと親しみがあるようです。もちろん言い方によって違いますが。

3例文を上げます ①がアングロサクソン系 ②がギリシア・ラテン系

① He was taken on as a staff.

彼は採用された。

② He was employed as a staff.

① Dr. Evvans will check up the patient.

エバン先生が患者を診察します。

② Dr. Evvans will examine the patient.

① The winter takes it out of me.

冬の寒さは私の身にこたえる。

② The winter exhausts me.

Yoshi